

2. 養成研修モデルカリキュラム

(1) 養成研修モデルカリキュラムの作成について

【養成研修モデルカリキュラム作成の基本的な考え方】

養成研修調査の結果及び「特別支援教育推進基礎資料」(平成15年6月 文部科学省特別支援教育課)を参考にしながら必要な事項を整理し、各自治体による研修プログラムづくりのヒントとなるような複数の養成研修モデルカリキュラム(小・中学校用及び盲・聾・養護学校用)を作成した。

【養成研修モデルカリキュラムに盛り込んだ内容・形態】

様々な視点からカリキュラムに盛り込む内容について検討し、研修日数との関係を考慮した上で、研修の内容に重みと優先順位を付けて構成した。その際、優先的に取り上げたいと考えた内容は以下の通りである。また、形態については全て講義を想定した。

- (1)特別支援教育コーディネーターについて
- (2)特別支援教育について
- (3)特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応について
- (4)校内支援体制について

次に、優先順位は付けないが可能な範囲で取り上げたい内容として、個別の指導計画・個別の教育支援計画、コーディネーション評価、ネットワークづくり、カウンセリングマインド、個人情報管理、コーディネーターにおける連絡・調整、実践報告等を考えた。また、形態については、それぞれの実情に合わせて講義、演習、協議、事例検討、訪問等を想定した。

【養成研修モデルカリキュラムの種類】

- (1)小・中学校の特別支援教育コーディネーター対象研修モデルカリキュラム
 - ① 1 日日程カリキュラム案
 - ② 2 日間日程カリキュラム案
 - ③ 3 日間日程カリキュラム案
 - ④ 5 日間日程カリキュラム案
- (2)盲・聾・養護学校の特別支援教育コーディネーター対象研修モデルカリキュラム
 - ① 3 日間日程カリキュラム案
 - ② 5 日間日程カリキュラム案

(2) 養成研修モデルカリキュラム

(1) 小・中学校の特別支援教育コーディネーター研修カリキュラム

① 1日日程カリキュラム案

1. ねらい
小・中学校における特別支援教育コーディネーターの概要を知る。
2. 対象
小・中学校教諭(特別支援教育コーディネーター予定者)
3. 日程と内容

午前			午後
講義①	講義②		講義③
「特別支援教育について」	「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応」		「特別支援教育コーディネーター概論」

② 2日間日程カリキュラム案

1. ねらい
小・中学校における特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る。
2. 対象
小・中学校教諭(特別支援教育コーディネーター予定者)
3. 日程と内容

【1日目】

午前			午後
講義①	講義②		講義③
「特別支援教育について」	「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応」		「特別支援教育コーディネーター概論」

【2日目】

午前		午後
講義・演習①		事例報告・協議①
「コーディネーターにおける連絡・調整」		「校内支援体制の構築と支援の実際」

③ 3日間日程カリキュラム案

1. ねらい

小・中学校における特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る。

2. 対象

小・中学校教諭(特別支援教育コーディネーター担当者又は予定者)

3. 日程と内容

【1日目】

午前			午後
講義①	講義②		講義③
「特別支援教育について」	「特別支援教育コーディネーター概論①」(役割、活動等)		「特別支援教育コーディネーター概論②」(校内支援体制の構築・地域でのネットワークの構築等)

【2日目】

講義④		事例報告・協議①
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応①」(LD、ADHD、高機能自閉症の特性と校内での実態把握)		「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応②」(学級担任等による指導や学級担任等への支援、校内委員会を通しての支援、盲・聾・養護学校との連携・協力等)

【3日目】

講義・演習 ①		講義・演習 ②
「個別の指導計画の実際」		「コーディネーターにおける連絡・調整」

④ 5日間日程カリキュラム案

1. ねらい
小・中学校における特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る。
2. 対象
小・中学校教諭(特別支援教育コーディネーター担当者又は予定者)
3. 日程と内容

【1日目】

午前			午後
講義①	講義②		講義③
「特別支援教育について」	「特別支援教育コーディネーター概論①」(役割、活動等)		「特別支援教育コーディネーター概論②」(校内支援体制の構築・地域でのネットワークの構築等)

【2日目】

講義④		事例報告・協議①
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応①」(LD、ADHD、高機能自閉症の特性と校内での実態把握)		「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応②」(学級担任等による指導や学級担任等への支援)

【3日目】

講義⑤	演習①		演習・協議①
「個別の指導計画及び個別の教育支援計画について」	「LD、ADHD、高機能自閉症の子どもの個別の指導計画作成」		「LD、ADHD、高機能自閉症の子どもの個別の指導計画作成」

【4日目】

講義⑥	講義⑦		事例報告・協議②
「カウンセリングマインドについて」	「個人情報管理について」		「校内支援体制や地域ネットワークの取り組みの実際」(校内委員会を通しての支援等、盲・聾・養護学校との連携・協力等)

【5日目】

講義・演習①		演習・協議②	まとめ
「コーディネーターにおける連絡・調整」		「コーディネーションの計画と評価」	

※ 可能ならば盲・聾・養護学校の研修とリンクさせて、合同の研修の場を設ける。

(2) 盲・聾・養護学校の特別支援教育コーディネーター研修カリキュラム

① 3日間日程カリキュラム案

1. ねらい

盲・聾・養護学校における特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る。

2. 対象

盲・聾・養護学校教諭(地域の小・中学校との連携に取り組む特別支援教育コーディネーター担当者又は予定者)

3. 日程と内容

【1日目】

午前		午後
講義①		講義②
「特別支援教育コーディネータ概論」 (含む特別支援教育概論・基本的な考え方・役割・活動等)		「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応①」(LD、ADHD、高機能自閉症の特性について等)

【2日目】

講義③		事例報告・協議①
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応②」(実態把握:心理検査・行動観察等、具体的な対応や支援方法等)		「特別支援教育コーディネーターの取り組みの実際」(小・中学校との連携、地域でのネットワーク構築等)

【3日目】

講義・演習①		演習・協議①
「コーディネーターにおける連絡・調整」		「コーディネーションの計画と評価」

② 5日間日程カリキュラム案

1. ねらい
盲・聾・養護学校における特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る。
2. 対象
盲・聾・養護学校教諭(地域の小・中学校との連携に取り組む特別支援教育コーディネーター担当者又は予定者)
3. 日程と内容

【1日目】

午前		午後
講義①		事例報告・協議①
「特別支援教育コーディネータ概論」 (含む特別支援教育概論・基本的な考え方・役割・活動等)		「特別支援教育コーディネーターの取り組みの実際」(小・中学校との連携、地域でのネットワーク構築等)

【2日目】

講義②		講義③
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応①」(LD、ADHD、高機能自閉症の特性について等)		「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応②」(実態把握:心理検査・行動観察等、具体的な対応や支援方法等)

【3日目】

講義④	演習①		演習・協議①
「個別の指導計画及び個別の教育支援計画について」	「LD、ADHD、高機能自閉症の子どもの個別の指導計画作成」		「LD、ADHD、高機能自閉症の子どもの個別の指導計画作成」

【4日目】

学校訪問①		講義・協議①
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応③～小・中学校の実践の様子の見学」		「巡回相談、コンサルテーションに求められること」

【5日目】

講義⑤	講義⑥		演習・協議②	まとめ
「カウンセリングマインドについて」	「コーディネーターにおける連絡・調整」		「コーディネーションの計画と評価」	

※ 可能ならば小・中学校での研修とリンクさせて、合同の研修の場を設ける。

(3) 養成研修モデルカリキュラムの講義内容例

① 特別支援教育コーディネーター概論

- ・特別支援教育コーディネーターの役割、活動
- ・校内委員会の運営と校内での連絡・調整
- ・コーディネーションの実際
- ・地域のネットワークとの連携やネットワークの構築

② 特別支援教育概論

- ・「今後の特別支援教育に在り方(最終報告)」の概要
- ・特別支援教育の目的と意義
- ・特別支援教育への取り組みの実際と配慮事項

③ 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と対応

- ・LD、ADHD、高機能自閉症等の特性の理解
- ・心理検査や行動観察等の実態把握の方法
- ・教育課程や関連法規の理解
- ・学級担任等による指導や学級担任、保護者等への支援

④ 校内支援体制

- ・校内委員会の役割、活動
- ・校内委員会の構築と運営
- ・学級担任等への支援
- ・地域のネットワークや専門家チーム、巡回相談員等との連携

⑤ 個別の指導計画・個別の教育支援計画

- ・実態把握、指導内容、指導方法、評価等の視点と方法
- ・計画の様式や運用
- ・教育課程の理解
- ・本人、保護者、関係機関との連携

⑥ コーディネーションの計画と評価

- ・コーディネーションの考え方
- ・計画立案と評価の視点や方法
- ・コーディネーションの実際

⑦ ネットワークづくり

- ・地域のネットワークや専門家チーム、巡回相談員等との連携
- ・地域の社会資源を活用したネットワークの構築と運営
- ・交渉力や人間関係調整力

⑧ カウンセリングマインド

- ・カウンセリングマインドの意義
- ・カウンセリングマインドに基づいたカウンセリング技法
- ・本人や保護者、学級担任等の理解と具体的ななかかわり方

⑨ 個人情報管理

- ・個人情報管理に関する倫理と法規
- ・個人情報管理の方法
- ・情報の公開と説明責任

⑩ コーディネーターにおける連絡・調整

- ・情報収集、情報共有の進め方
- ・交渉力や人間関係調整力
- ・ネットワークの構築と運営